

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味小中学生も参戦！

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

愉快的な踊りで舞台のスタートを飾る

OKINAWA SANSAN
沖縄燦燦 大宜味公演

1月11日（木）、大宜味小・中学校体育館において文化芸術振興事業公演「沖縄燦燦」が開催されました。

「沖縄燦燦」はセリフがほとんどなく三線や太鼓、バイオリン、パーカッションなどの楽器に合わせ、琉球の村人の精一杯生きる姿、哀、喜び、祝いを生演奏と踊りで表現していく歌舞劇です。

舞台の初めには昼休みに行われたワークショップで沖縄燦燦のメンバーから踊りを習った小学5年生から中学2年生まで17名が出演者とともに「マミドーマ」を披露。短い練習時間でしたが、出演した児童生徒たちは元気に楽しく踊り、会場を沸かせました。

物語は歌や踊り、音楽の表現でも話の内容が伝わり、小さい子からお年寄りまで楽しむことができました。また、観客が出演者と一緒になって音楽に合わせて手踊りで参加する場面もあり、会場一体となって楽しめる舞台を体験することができました。



生徒も先生も学ぶ道徳 大宜味中道徳公開授業

1月9日（火）、大宜味中学校において道徳の公開授業が行われ、中学校職員の他、他学校の先生方も授業を見学してきました。

大宜味中は令和5年度文部科学省の道徳教育研究の指定校になっており、先生たちが道徳の理論や授業展開などを学びます

この日は岐阜聖徳学園大学教育学部の山田貞二准教授を招き、2年生は『アンパンマンがくれたもの』を題材に東日本大震災の時に「アンパンマンのマーチ」の曲が多くリクエストされ、なぜこの曲が選ばれたのか、曲に込められた思いについて、1年生が『バスと赤ちゃん』を題材にバスで泣き出した赤ちゃんの話から人を思いやる気持ち、受け取る気持ちについて考え意見を出し合う授業が行われました。

生徒それぞれがテーマについてよく考え、自分の思いや感想、意見を素直に出せ、生徒も先生方も学ぶことの多い授業となりました。



新年を祝う 大宜味中新春もちつき大会

1月9日（火）、大宜味中学校で新春もちつき大会が行われました。

今年1年、生徒、保護者、職員が健康で元気に過ごせるように、生徒たちが力強くたくましく成長できるように、さらに3年生が全員合格を目指してねばり強く頑張ることができるように願いを込め、もちをつきました。親子で一緒にもちつきをしたり、友達と高速もちつきをしたり様々なもちつきスタイルが見られ、みんなでもちつき大会を盛り上げました。

ついたもちは保護者の方たち協力でおしるこやきな粉もちとなり、みんなで美味しく味わいました。



自分で決めた目標に向かって走り抜く 大宜味小持久走大会

1月19日（金）、大宜味小学校において校内持久走大会が行われました。

ドキドキしながらもスタートに立つ児童たち。たくさんの保護者や地域の方の声援を受け、申告タイム、自己記録を目指して一人一人が自分の力を出し切りました。

平良智校長先生は「今日の持久走大会はレースでもトリムでも素晴らしいチャレンジが見られました。みんなのチャレンジに感動しました」と激励しました。児童のみなさん、暑い中お疲れ様でした！！



各学年1位	男子	記録	女子	記録
1年生（400m）	本領天翔	1分40秒	島袋結咲	1分47秒
2年生（600m）	平良藍琉	2分37秒	名嘉みすず	2分34秒
3年生（800m）	宮城飛友磨	3分43秒	渡嘉敷花	3分45秒
4年生（1000m）	新垣温大	3分56秒	濱元朱莉	4分00秒
5年生（1500m）	宮城市弦	5分56秒	前田菜雪	7分13秒
6年生（1500m）	濱元大晴	5分44秒	宮城わら	7分03秒

令和6年 大宜味村「二十歳の集い」



1月4日（木）、大宜味村農村環境改善センターにおいて、令和6年大宜味村二十歳の集いが行われました。今年の該当者は32名、そのうち27名が式典に出席しました。

お揃いの袴やスーツ、艶やかな着物に身を包み面影は残しつつも大人の顔になった大宜味中39期生達は笑顔で入場し、温かい拍手で迎えられました。

成人者代表あいさつでは、塩屋の玉城憂人さん、颯さん兄弟が担当。成人代表：玉城憂人さん、颯さん二人は思い出を話しつつ「この先、私たちはそれぞれが別の道に進み、その人にしかない人生を歩んでいくことなのでしょう。辛いこと、悲しいこと、いくつも試練が待ち受けていると思いますが、時には休みつつ、自分を見失わず、感謝の気持ちを忘れずにみんなから慕われる人間になりますので、皆様これからも温かい目で見守ってください」と決意を述べました。

今年からコロナ以前と同様に行われた式典後の激励交換会では鏡開きや成人者、保護者のパワフルな余興も行われ、来場者たちを盛り上げました。

中学時代から仲が良く盛り上げ上手だった39期生。久々に会った仲間たちと楽しい時間を過ごすことができました。



今年より名称・内容が変わりました！

新緑の塩屋湾を走ろう！ in 大宜味村

第46回 塩屋湾一周 マラソン大会

2024年 4月21日（日）開催

定員：800名

参加料：大人3000円／小人1000円（高校生以下）

参加賞：タオル500名・陶器300名

会場：旧塩屋小学校スタート／ゴール



申込期間 ●申込用紙（当日消印有効）●郵便局からの申込：令和6年1月22日（月）～2月29日（木）

●インターネット <https://www.sportsentry.ne.jp>：令和6年1月22日（月）～3月7日（木）

お問い合わせ

塩屋湾一周マラソン大会事務局（大宜味村教育委員会内）

TEL0980-44-3006（担当：島袋）



～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第12回 教育委員会会議 令和5年12月21日（木）午後2時35分開催

＜審議事項＞

議案第19号 大宜味村保育の利用の調整に関する規則の一部を改正する規則 <<可決>>

議案第20号 大宜味村一時預かり保育実施要項の一部を改正する訓令 <<可決>>

図書室情報 No.54 2024年（令和6年）2月

大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内）
大宜味村字大兼久157番地 0980-44-3009

●利用状況累計

○来室者数…のべ3,052人	○来室者数…のべ47人
○貸出冊数…5,180冊	○貸出冊数…117冊
○登録者数…168人	現在の蔵書数…7005冊

2月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

県立図書館の本が入れ替わります！

県立図書館の本の入れ替えのため、絵本や文学、子育て、沖縄の本など合わせて260冊の本の貸し出しを2月9日（金）に終了します。対象の本を借りた方は2/26（月）までに返却してください。



※来室の際は、感染症対策へのご協力をお願いします。
体調の優れない方は、来室を控えてください。

図書のリクエスト受付中！（年度内1人5冊）

お知らせ・教委だより・図書情報

令和5年度大宜味村文化協会会員展示会

～ 前田國男・春城 親子展 ～ 開催のお知らせ

一昨年に発足した大宜味村文化協会会員の活動を紹介すると同時に、村民の皆さまに美しい手わざと文化芸術に触れる機会として、役場ギャラリーで展示会を開催しています。記念すべき第一回は、『日本文化を担う・漆の美展』にて一昨年度林野庁官賞・昨年特別賞を受賞した前田國男氏と、沖縄県の『琉球王国文化遺産集積・再興事業』に携わり「沖展」でも連続受賞し活躍中の前田春城氏の親子展です。

開催期間：1月18日（木）～2月22日（木）（予定）

ギャラリートーク：2月14日（水） 12時30分～13時

作者である前田國男氏と春城氏に、作品解説や漆の魅力について語っていただきます。
トーク終了後は作者滞在で直接お話できる時間も予定しております（30分程度）

大宜味村婦人連合会地域交流講座

第5回 ジュップロックでみそづくり 開催のお知らせ

大豆・麴・塩だけのシンプルな材料で、もみもみつぶしてみそを作ろう！
カビが出たときの管理方法やみその活用方法も学べます

婦人会に入っていないなくてもどなたでも参加できます！

日時：令和6年2月15日（木）午後7時30分～9時

場所：津波公民館

講師：JA女性部指導員 大城君代

持ち物：エフロン、頭巾、あれば麺棒（大豆を潰す時に使用）、タオル1枚

参加費：500円

参加申込・お問い合わせ：新城喜代美（090-1944-0874）



★ 大宜味村スターリースカイ～三ツ星オリオン冬物語～のご案内 ★

教育委員会主催による今年度最後の星空観察会を下記日程で予定しております。
参加希望の方は教育委員会までお申し込みください。

日時：令和6年2月22日（土） 19時～21時

場所：大保ダム

対象：大宜味村民（未成年者は保護者同伴）

募集定員：20名 ※定員に達し次第、締め切りますのでご了承ください。

参加費：100円（保険料）

申込方法：2月20日（火）までに100円を持って、教育委員会窓口で申込書の記入をお願いします。

お問い合わせ：大宜味村教育委員会 ☎：0980-44-3006（担当：津波古）

津波山に眠るつわものどもの夢のあと

津波グスク、石グスク調査

1984年発刊の『大宜味村の遺跡 詳細分布調査報告書』から、40年後の現在の様子を確認するため、津波グスクから石グスクの踏査を行いました。津波グスクは2022年7月に訪れたときの様子を「村史編さんだより136号（2022年8月号）」でも報告していますが、今回は長年、琉球のグスク研究に携わっておられる當間嗣一氏（グスク研究所主宰）に同行させてもらったので、より詳しい説明を受けながら、遺構を確認することが出来ました。

土のグスクと日本の中世山城（やまじろ）

日本の山城は14世紀中頃の南北朝時代から造られ、当初は戦争の際、臨時的に使う場所でした。山城は自然の山の地形を活かし、標高50m～200m位の山の頂上附近に造られていました。尾根周辺には曲輪や切岸を造り、尾根を切岸で分断するという特徴があり、簡易的ながら高い防御力がありました。

このような構造は、土よりなるグスクと共通しており、技術的な類似性が指摘されていますが、沖縄のグスクは主に14世紀後半～15世紀中頃にかけて造られ、本土では15世紀後半～16世紀頃の戦国時代に大規模な堀切や切岸を造る山城がみられるなど時期に差があり、直接的な関係があったかはまだ分っていません。（『奄美大島名瀬市における城郭遺跡の概要』名瀬市教育委員会 より）

～津波グスクで見られた遺構～

- ・曲輪（くるわ：人工的に作った平場）
- ・切岸（きりぎし：曲輪周辺の斜面を人工的に削った急斜面）
- ・堅堀（たてぼり：自然地形の斜面に上下方向に設けた堀）
- ・将台（しょうだい：大将が指揮を執るために設置した台海の方に向いている。海からくる敵を意識したものか）
- ・横矢掛り（よこやががり：攻めて来る敵を真横から狙い打ち）

～石グスクで見られた遺構～



▲平南村があった頃の拝所と思われる石グスクの洞穴内にある石皿（中央より左上）。海砂利が敷いてあるのが見える



◀木が侵食しているが道筋が確認出来る（石グスク）



▲見張り台か。東シナ海が見渡せる（石グスク）



▲岩の隙間に石が嵌められた段状の道（石グスク）



村史編さんだより

第154号 2024年2月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

髭のサントが大きな贈り物をもって来訪!! 金城功氏より『天野鍛助日記』42冊の寄贈



12月22日の寒い朝、銀髪・白髭の翁と媪が、大きな宝物『天野鍛助日記』携えて来訪されました。寄贈の主は饒波出身の金城功氏。沖縄県史編集に携わり、沖縄県立図書館館長、沖縄大学教授などを歴任され、東恩納寛惇賞も受賞された、我々にとっては雲上人です。昭和に発刊された大宜味村史資料編・通史編の編纂にも関わられ、以前にも先の村史に掲載された貴重な古文書などを寄贈していただきました。長年、資料の散逸を憂慮されていた95歳の金城翁が、心を砕き手を尽くして探し当てて下さった“大宜味村の宝”です。

日記を遺した天野鍛助は、最初の民選村長として1920（大正9）年から1932（昭和7）年まで3期、旧庁舎建設や村政革新運動など波乱の時代の村政を担った人物です。「天野鍛助日記」は資料編にも一部掲載されていますが、今回の寄贈分は1924（大正13）年から1965（昭和40）年の42冊。手に取ると、その時代の空気が直に迫って来て、胸が震えるほどの感概を覚える一級資料です。村史編さん係にとっては、一足早い大きなクリスマスプレゼントとなりました。心から感謝を申し上げます。



▲天野鍛助日記と金城功氏・智子夫人



「通史編」専門部会開催

12月13日（水）、大宜味村史通史編第1回専門部会を開催しました。

会議では、進捗状況の報告、発刊スケジュールの確認などを行い、構成について「コラムを入れたら読みやすい」「各字の共同売店について・稲作の推移についても載せて欲しい」など、読みごたえのある通史になるように様々なアイデアが出されました。今回の会議で出た意見を取り入れながら、原稿作成に取り組んでいきます。

令和6年度は「通史編」の他、「資料編」「普及版」も発刊予定となっており、平成24年度からスタートした村史の集大成の年です。タイトなスケジュールに不安はありますが、これまで蓄積した資料を活かせるよう、頑張りたいと思います！

「大宜味村史 通史編」専門部会委員の紹介

- 部会長：米須邦雄
- 副部会長：前田國男
- 委員：仲原弘哲、平良次子、宮城樹正



▲会議の様子

政信教育長のあじま～コラム



「郷土愛」

去る1月4日（木）、大宜味村「二十歳の集い」が改善センターで行われました。参加対象は大宜味村に現在住所を有する者及び大宜味中学校39期生の32名でしたが、当日の参加者は27名で、ほとんどの対象者が参加していました。村外や県外で生活している方がほとんどだったと思いますが、参加率の高さは故郷に寄せる思い（郷土愛）の表れであり、また、各々の表情からもそのことを強く感じました。「自分の生まれたところが好きだ」という郷土愛を最も醸成できる時期が小・中学校時代の学齢期にあたるそうです。友だちや恩師との再会を喜ぶ姿をみて、本当に充実した小・中学校時代を過ごしたのだと思いました。

さて、この「郷土愛」を育むことは学校教育においては、指導する価値項目の一つである道徳や総合的な時間等でも触れますが、学校教育だけでは当然賄いきれません。また、学校だけの役割でもありません。地元を愛する子どもを育てることは、むしろ地域力にかかっていると言えると考えています。学校は、ほとんどの先生が地元出身でもなく、数年すれば転勤となります。また、一度卒業すると学校へはなかなか足を運ぶ機会はないものです。しかし、自分の生まれ育った地域はいつでも戻ることのできる場所です。「地域の子は地域で育てる」という言葉を聞いたことがあると思いますが、それは地域が大きな家庭として、大きな教室としての機能を持ち、子供達と関わることを意味しているのではないかと思います。小・時代に地域での様々な思い出が子供達の「郷土愛」の醸成に深く関係していくものと思います。

今月の生きもの



シロツメクサ：マメ科

こんにちは♪私シロツメクサです。別名はクローバー。小さい頃、花の冠（かんむり）やうでわを作って遊んだみなさんにもよく馴染みのある白くて可愛い花です。シロツメクサ（白詰草）の名は昔オランダから贈られてきたものがこの葉を詰め割れないようにしていたことに由来します。マメ科の私たちはおいしいみたくて動物たちにも大人気♪私の葉っぱは本来三つ葉なのだけれど、突然変異で四葉になったり、五つ葉にもなったりします。幸せの四葉のクローバーは案外近くにあるから探してみてください。

🍩 2月の行事予定 🍩

1日（木）区長会 新春の集い	12日（月）振替休日
3日（土）御願解き 地区PTA大会（金武・宜野座）	15日（木）保育参観日・入園説明会
4日（日）大宜味村教育の日 日曜授業参観日	19日（月）（小）新入生保護者説明会
5日（月）振替休日（2/4 授業参観）	22日（木）（園）お別れ遠足 定例教育委員会議 スターリースカイ（冬編）
6日（火）（中）新入生保護者説明会	23日（金）天皇誕生日
9日（金）「体験の翼」交流団出発 ～ 12日	25日（日）旧十六日
10日（土）旧正月	28日（水）（小）新1年生体験入学
11日（日）建国記念日	5年生お招き交流会

